

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永字岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
www.4nan.jp/dousou/



ご挨拶

会長 粕谷 邦男

拶で私も在校生の皆様は今後50年先の100周年記念を盛大に祝うように強くお願いしました。まずまずの南高校発展にご理解とご支援をいただき、ご同輩の皆様方のお幸せをお祈り申し上げます。ありがとうございます。

2009年夏

同窓会の皆様にはご健勝でまずまずのご活躍を心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年10月25日記念すべきわが母校・四日市南高等学校の創立50周年が見事迎えられ、式典及び関連事業が粛々と行われ、多くの方々のお力をお借りして無事挙行されました事、この上ない感動と感謝をもってお礼申し上げます。決して華美なことではできませんでしたが、南高を愛する心と我が人生の誇りを高々と登城ヶ丘の空に歌い上げたこと自信をもって自負しました。50年と云う半世紀をセピア色から現代色に変化する人生の尊さに脱帽します。一万七千人の卒業生のお一人一人の温かいお心で南高校が在ると云うことです。それが同窓会の意義でもありましよう。

昨今、まさに100年に一度と云う大不況、メキシコに於ける新型インフルエンザ等、一瞬にして全世界を恐怖と不安に巻き込むスピーディーな時代です。その時々の時、優秀なる人間の「知恵」と「愛」でコントロール出来る世界にしなければなりません。世界平和の社会的環境、地球規模の自然的環境が我々人類の課題です。式典の中の挨拶



同窓会ホームページをリニューアルしました。是非ご覧ください。
<http://www.4nan.jp/dousou/>



職業生活を振り返って

学校長 中川 安久

近頃、精気あふれる若い生徒や先生を見るにつけ、大変羨ましく思うことがよくあります。持病は別として、さほど毎日が苦痛でもありませんが、朝から湧き上がるような力がみなぎってくると言えない体調、と云った方が正直であります。

教職に就くことは、自分の意思でありましたが、その後の勤務地、仕事内容等々は、上司や周囲の方々の意向で決定されました。

自分も嘗てそのように生活していた筈ですが、もう記憶にしかない現実、黄昏の域に突入したと自覚せざるを得ません。

特に、私にとって県教育委員会の事務吏員への転勤はさすがに厳しいものであります。学校現場と大きく違った組織で、とかく学校現場では間違った風聞が語られています。とどのつまりは、「命までは取られることは無いだろう」という柔道の試合や稽古の時と同様に考えざるを得ませんでした。実際経験した後になって、このことは大袈裟と思いましたが、合計3回の行政経験をさせていただき、合計年数が10年間の勤めになっていました。

まして人生の区切りにさしかかっておりまして、とかくセンチメンタルな気分が増幅してきます。しかし一方では、まだまだ若い者には負けておれない。私の過去の経験は若い人にはない筈で、仕事上多く修羅場もくぐってきたことを生かして、今後も社会貢献や自分の生き甲斐に繋がる仕事をしたとも思っています。

この経歴に、当然何の後悔もありませんし、この行政経験が貴重な財産となり、誇りにもなっています。今となっては上司の方々に、本当に世話になったと感謝の気持ちで一杯であります。私の場合、未熟で若輩の時代は本当のところは何もわからずに表面だけを見て、自分勝手に想定して「希望」と思っているだけでありました。経験豊富な上

先日、自分の経歴を整理する機会があり、つくづく眺めてみますと、過去に於いて「自分の希望」で仕事内容が決定されたことが殆どないことに今更ながら気がつきました。

同窓諸兄におかれましても、まだまだ社会的地位を堅持され、ご活躍いただく年齢の方が多くおられると存じます。本校は、今後も多くの優秀な人材を輩出する筈であります。

大学卒業後、教職員を希望し

どうぞ、必ず訪れる「四日市南高校創立百周年」までご健勝で、昨年の50周年より数段大きい祝賀の宴を開いていただき、南高の百歳に乾杯していただきたいと願っております。当職としましては、この四日市南高校が最終の勤務地となる予定でございます。甚だ恐縮ですがこの機会をおかりしまして、同窓会並びに本校関係の方々のご厚情に心から感謝申し上げます。四日市南高校同窓会が、今後益々充実発展されますことを祈念申し上げます。

司の方々は私への評価も加味して配慮して、方向付けていただいたわけでありませぬ。

このことは、残念ながら当時理解出来ていなかったと思えます。視点の低い、自己中心的にしか物事が見えなかったと思います。正直に申しますと、自分が前述の上司のレベルになれたのは、恥ずかしいことですが、私が所謂「人事権」を得てからのような気がいたします。

第一線で活躍する職業生活は長いようで、終わりが迫ってくるのが瞬く間に時が過ぎたと感じるものでございます。

同窓会ホームページをリニューアルしました。是非ご覧ください。
<http://www.4nan.jp/dousou/>

OB講演会

平成21年7月13日

OB Lectures
2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

日本テレビ放送網コンプライアンス推進室法務部長
中井孔人氏(16期)



最後に「やる前から身を引くのではなく、とにかく1回トライしてみる。やってみて失敗するのはいいし、とことんやり切って身を引くのは構わない。自分のやりたいこと、向いていることを納得がいくまで考えてみてほしい。」と、熱意のこもったメッセージを頂きました。

芸能史研究家企画編集者
前田憲司氏(16期)



大学選択から職業選択について、そしてテレビ業界という一見華やかな仕事の実態についてお話し頂きました。有名私立大学に合格されながら、このまま進学しては悔いが残る、と浪人生活を決意され、1年後に志望大学へ合格されました。「悔いを残したまま一生を過ごすよりも、もう一度トライすること。自分で納得しない限りはだめだ」というお話がとても印象に残っています。

現在のお仕事について、楽しいけれど、時間が不規則で休みがほとんどないことや、事件現場で命を落とす危険性がある仕事だということに、生徒たちは真剣に聞き入っていました。この仕事でしか経験できないことも、失うものもたくさんある、という両側面を分かりやすくお話し頂きました。

れをやりたい」と夢見て何かをしてきたことはないけれど、「何かを続けること」と「人との繋がりを大切にすること」、この2つのことはやり通してきたというお話です。

また、夢を持っていない生徒が多かったことに対して、「仕事」について、一番身近な先輩である両親に話を聞いてみることも良いきっかけになるとアドバイスして頂きました。最後には、現在は通過点であり、あきらめない限り失敗することはないから「続ける」ことを大切にしたいという言葉でお話を結ばれました。

ユニテッド・マネージャーズ・ジャパン(株)代表取締役
小柴正浩氏(19)期



最初に高校時代の思い出について、その後、大学時代の話や、転職をして今までに3つの職業に就かれたことについて笑いを交えながら話して頂きました。職業については、企画の話から生徒が興味を持っている芸能関係の話、また三重に住む私たちにとって馴染みの深い赤福への就職、そして現在フリーで活躍されている様子について生徒の意見も聞きながら話を進めて頂きました。とても印象に残ったのは、「こ

社の様子を話して頂きました。なかでも、「仕事と何か1人の為に労役あるいはサービスを提供してその対価としてお金を得ること」より多くの人に、より大きく人の為に何かできれば(人に大きな喜びを与えることができ)その結果としてより大きな対価が得られる」という言葉や、グローバルな視点を持つことの大切さをファンドマネジャーの仕事を通して語って頂いた事で、生徒の職業意識を喚起できたようです。

最後に後輩への助言として、「人とのつながりを大切にすること」「人の役に立てるようにするには、グローバルに見て人のできないことを見つけることが大切」という言葉を頂き、「楽しい夢のある人生を送ってほしい」という力強い一言でお話を結ばれました。

最後に後輩への助言として、「人とのつながりを大切にすること」「人の役に立てるようにするには、グローバルに見て人のできないことを見つけることが大切」という言葉を頂き、「楽しい夢のある人生を送ってほしい」という力強い一言でお話を結ばれました。

四日市市役所政策推進課長
館英次氏(20期)



はじめに自己紹介があり、現在されているファンドマネジャーの仕事についての説明から高校時代のクラブ活動や文化祭の思い出などを話して頂きました。次に就職してから会社のかでのファンドマネジャーとしての役割、会社を辞めて起業するまでのいきさつから現在の会

生徒と同じ高校二年生の頃は、自分がこの職に就くとは思っていなかったそうです。高校三年生で、土木・建築関係の学問に興味を持ち、それが学べる大学に進学。そして、直接現場でものを作るのではなく、何をどのように作るかを決めることに携わりたいと思い、市役所で働くことを志されたとのことでした。

一口に市役所と言っても、様々な業務があります。四日市市役所の組織表を用いて、税金、観光、環境、都市整備、教育、消防などあらゆることを行っていることを説明していただきました。また、市役所と民間企業の違いのお話は、仕事のイメージがわきづらいた生徒にとって意義のあるものとなりました。

最後に、今の四日市市役所が、新市長のマニフェスト「動かそう、四日市」を掲げ、今後10年間の計画を立てているというお話となりました。生徒たちと今後の四日市の展望を語らうことにより、講演会の中で最も楽しい時間が流れました。生徒にとっては身近な市でありながらも、改めて考えることのなかった四日市市。それを自分を変えていけるという視点を持ってた貴重な講演会となりました。

自分のように市役所に入りたいという熱い思いのもと、四日市市役所の業務について話していただきました。

NPOクロスポイント事務局長
芳野正英氏(32期)

芳野氏はNPO法人「クロスポイント」の事務局長や、政策



提言や大学生相手に就職支援を行っているNPO法人「MPI」のスタッフもされています。

近年、入社して数年で離職する若者が増えているそうです。単調な日々で自分を見失い、何のために働くのかが分からないというのが理由です。芳野氏には、大手銀行を辞め、劇団四季に入った友人がいます。外資系のコンサルティング会社を辞め、京都の町屋再生プロジェクトに携わっている友人もいます。高給を捨て、自分にとって本当にやりがいのある仕事を見つけた方々です。

芳野氏自身も、様々な職を経験しながら「好きなことをして社会を動かそう」をモットーに活動しておられます。自分が好きな事なら必ず道はある、自分から主体的に動いていくことが大事だ、という事を芳野氏の経験談を交えながら熱く語って頂きました。

色々な事に迷いながらも自分の道を模索し続けている先輩の話聞いて、生徒達も感じる所は多かったのではないかと思います。

教育実習

Teaching Practice

今年も教育実習が行われました。第45期生の方々に感想をお聞きしました。

田中裕志

45期生

教育実習期間の二週間がとても短く感じる程、内容の濃い時間を過ごしました。授業では、人に話を伝えることの難しさを実感しました。授業の内容を生徒に上手く伝え、生徒が飽きない授業にするためにどうすれば良いのかを考え続けました。この考え続けた事が自分にとって良い経験になったと思います。

また、授業以外のHR指導や部活動においても充実した日々を送ることができました。高校



奥山博史

45期生

総体に参加したことで、授業と部活動の指導がいかに大変であるかを実感できました。この二週間の経験は、自分にとって本当に大きなものになりました。協力していただいた多くの先生方に感謝したいです。

二週間の実習を終えた今、とても充実した日々を送れたと実感しています。初めは右も左もわからず、教材研究をし、授業案を考え、目の前の授業をこなすことで精一杯でした。多くの先生方に支えられ、ここまで来られたと思つています。自分の力が足りない所が多く、生徒にも先生方にも迷惑をかけてしまった点が多かったように感じます。それにも関わらず真剣に指導して下さいました先生方と生徒に感謝の気持ちでいっぱい

です。実習の中で、先生という仕事は「一生勉強すること」ということであり、生徒と共に学び成長していくことが大切

ではないかと感じました。二週間ご指導ありがとうございました。

笠井美雪

45期生

卒業してから4年、実習生という立場で南高に帰ってくるのができました。生徒として過ごした3年間と同じくらい充実した、中身の濃い3週間を過ごすことができました。教育実習が始まるまでは、期待よりも不安が大きく3週間やり遂げられるか心配でしたが、いざ実習が始まると、あつという間に終わりを迎えてしまいました。生徒達からも学ぶことが多く、本当に貴重な経験をすることができました。南高で教育実習ができて本当に良かったです。

最後にありますが、3週間ご指導してくださった先生方、本当にありがとうございます。この経験を今後の学生生活に活かしていきたいと思ひます。

西口光

45期生

3週間という短い期間でしたが、南高校で実習ができて本当に良かったです。子どもたちは元気がよく、あいさつもしっかりとできて、元気がこちらまで伝わってきました。4年ぶりに南高の体育祭にも参加でき、高校生の頃のように興奮し、楽し

むことができました。また、授業の面では、教えることの難しさを知ることができました。うまくいかず落ち込むこともありましたが、生徒達の笑顔を見て励まされ、頑張れました。この実習で経験したこと、生徒と作った思い出を絶対に忘れず、今後にいかしていきたいと思ひます。最後にお忙しい中、ご指導してくださった先生方、本当にありがとうございます。

これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

躍進する部活動

Club Activities

ワンダーフォーゲル部

ワンダーフォーゲル部は現在男子9名、女子7名で活動しています。6月に行われた東海大会では女子は優勝、男子3位と男女共に入賞することができました。

7月の下旬からは男子は中央アルプスで夏合宿を行い、女子は兵庫県の氷ノ山周辺でインターハイに出場します。全国制覇

野球部

現在部員は、1年生16名、2年生18名、3年生15名、マネージャー3名、計52名です。文武両道の精神に則り、勉強と部活の両立を基本とし、限られた時間の中で効率的な練習を心掛けております。そして、現役の部員だけではなく、南高校野球部の先輩方の夢でもある「甲子園出場」という目標に向かって、日々練習に励んでおります。

男子サッカー部

上位進出の確立があがってきたと県内の指導者から評価され始めた。ベスト4に入るため、優勝するためにやる事、それは非常に細かい事で基本的なことです。大きな事を達成するためには、一つ一つの小さな事を積み上げる以外には道はありません。簡単なことではありませんが全力で挑戦したいと思います。

テニス部

県総体で男子が団体6位、女子が5位となり、上位入賞の目標を今年も達成することができました。1・2年生を中心に男

第56回東海高等学校総合体育大会登山大会



ワンダーフォーゲル部

子は27名、女子は10名で早朝から練習を重ねています。これからも県総体上位入賞が続くよう、そしてさらなる好成績を収められるよう日々頑張っています。ご支援を宜しくお願いします。

バスケットボール部

バスケット部は、男子29人(3年9人、2年7人、1年13人)、女子29人(3年12人、2年8人、1年9人、マネージャー含む)で活動しています。南高校が属する北地区は、三重県の中でもレベルが高く、地区予選を勝ち抜くのが難しい地区です。そんな中、男子が地区大会を勝ち抜き3年振りの県総体に出場しました。

コーチや顧問の先生方の熱心なご指導と持ち前の明るさで、県大会優勝を目指して頑張ります。

剣道部

顧問は引き続き浦田・杉本。本年度は1年生男子が2名の有段者が入部し、5年ぶりに春季大会・県総体に男子団体で出場しました。部員は、一年男子5名、女子2名で、稽古にも熱が入っています。県総体では、3名が2回戦に進出し今後の活躍が楽しみになっています。切磋琢磨して秋の大会にはいい結果が残せるようにしていきたいところです。またOB会も伊藤英明君幹事の元、例年通り八月に開催予定、昼稽古会・夜宴会という伝統も受け継がれ、先輩諸氏から後輩にご教示を得るよい機会になっています。

ソフトテニス部

3年生が引退し、男子は2年生が6名、1年生が3名、女子は1・2年生ともに7名ずつの合計23名で活動しています。平日は相変わらず男女で一面ですが、休日の練習は半日を3面で練習できるようにになりました。県大会ベスト8入賞を目標に、日々頑張っているところです。

女子サッカー部

私達女子蹴球部は、一年生十二人、二年生六人、マネージャー五人の合計二十三人で毎日元気よく練習に励んでいます。部員のほとんどが初心者ですが、

ハンドボール部

昨年、一昨年と実績を残した後、後輩達は心に刺激をもらい練習に励んだが、本年度は気持ち空回り状態になり、各大会に涙を吞んだ。しかし、女子は

初心者ながら経験とチームワークで徐々に実力を上げ、強豪チームとの対戦、一歩も退くこともなかった。今後は更なるチームの向上を目指すでしょう。

水泳部

「水泳で強くなる」をメインテーマに掲げ、肉体と精神鍛錬を水中に限らずあらゆる場面でを行っています。(つもりです)その甲斐あって、競技成績も目に見える伸びがあり本人はもとより顧問も喜んでいきます。目には見えませんが、将来の財産作りをしています。

茶道部

羽木千鶴子先生のご指導のもと、週一回表千家のお点前を稽古しています。今年7月30日(桑名市民会館)31日(酒翠庵)、全国高校文化祭の協賛茶会にも参加いたします。9月8日の南高祭の茶会にも多くのお客様をおもてなしをしたいと部員一同張り切っています。

音楽部

今年度は新入部員4名を迎え、15人で活動しています。テニスコート横のプレハブが部室です。入学式での校歌演奏に始まり、南高祭、中学生見学会、離任式など校内の活動に加えて、合唱祭、合唱コンクール、三重音楽祭、アンコン、北勢合同など校外での活動も積極的に行っています。今年夏の高総文祭で県下の高校生全員での第九演奏も

あります。

インターアクト部

現在、部員が1年生3名しかいません。ボランティアなど初めて体験することも多いですが、様々な人との出会いや交流を大切にしていきたいと思っています。毎週月曜日にはALTの先生と共に英会話をし、外国の文化を教えるもっています。最近外国の歌でダンスを楽しんでいます。

囲碁将棋部

部員は、二年生二人と一年生四人の計六名で、週に二回の活動日に主に将棋を楽しんでいます。学校行事では文化祭に力を入れています。興味を持った人が誰でも気軽に寄ってくれるような場所を作りたいと思っています。

演劇部

昨夏の大会では『子供の子供の子供たち』(田上二郎作：既成)を演じ、県大会に出場しました。春季大会には『ぶつち切れ!』(下 亜友美作：既成)を演じ、銀賞を得ました。長年顧問を務めた橋本一哉(美術)が三重県教育委員会に転出し、代わりの顧問として長谷川智彦(美術)が着任しました。新入生が9名入部しました。

軽音楽同好会

4月に1年生22人が入会し、2年生14人・3年生30人と合わ

せ合計66名となりました。毎週金曜日の放課後にギター・ベース・ドラムの講座を開き、経験者が初心者に教えています。バンドを組んでいる生徒はバンド練習を各メンバーの都合に合わせて、週に1・2回行っています。

人権サークルTAC

私たち人権サークルTACは、部員が3年生3名と少ないですが、楽しく活動しています。校内での活動はあまりできていませんが、今年度は、近隣の特別支援学校・西日野にじ学園のみなさんとの交流や北勢地区の高校生人権フェスティバルなどの校外の活動に力を入れています。

吹奏楽部

約八十名の大所帯である吹奏楽部は昨年度も多くのステージ演奏をさせていただきました。又、アンサンブルコンテストにおいて、サククス八重奏が、出場七百チームの中から県代表に選ばれ東海大会に出場することが出来ました。今年も更なる向上を目指し、日々努力を積み重ねていきたいと思っています。

天文部

天文部は、3年生5人、2年生1人、1年生3人で活動しています。天体写真撮影の機材が充実してきており、南高祭で展示する事が出来るまでになりました。学校や校外に出かけての観測会のほか、プラネタリウムを見に行くなどの活動をしてい

ます。今年度は世界天文年であり、また日食もあります。楽しみながら一年間となります。

美術部

当美術部は、みえ高総文祭の展示の運営要員となり、全国から集まってくる素晴らしい作品を展示する、という大役を任せられました。今年度は、新入部員十一名を迎え、男子部員も三名入部し、総勢二十名を越えました。南校祭、高総文祭、北勢展に向け、素晴らしい作品ができあがるよう頑張る製作していきます。

文芸部

三年生四人、二年生三人、一年生四人の合計十一人で活動しています。三ヶ月に一度、年四回部誌を発行しています。年に何回か座談会を開いてワイワイやっています。後、ホームページを作って、広く作品を公開しています。これからも色々なジャンルに挑戦したいと思っています。

箏曲部

三年生三名、一年生七名の計十名で活動しています。一年生は毎週月曜日、三年生は毎週木曜日に森雅雅先生に指導していただきます。今年の七月二十九日から八月二日に、三重県で全国高文祭が開催されます。箏曲(日本音楽)の会場は鈴鹿市民会館です。三年生は県下の箏曲部の高校生と合同で曲目「熊野古道」を演奏します。

進路状況

本年度の卒業生数は、8クラス（内、数理コース2クラス）の合計316名でした。進学者数は294名（内、男子134名）で全体の93%が進学しました。ただし、残り7.0%の内6.6%は浪人生でした。

数理コースは卒業生の73%が国立大学に、128%が私立大学に進学しています。学年全体の43.4%が国立大学への進学者で占められています。

国立大学の延べ受験者数は310名、合格者数は147名、入学者数は137名です。合格率は47.4%（入学率は93.1%）でした。国立4年制大学の現役生と過年度生合計の合格者数は153名です。

主要な国立大学合格校は、難関大では北海道大（2）、名古屋大（5）、大阪大（2）です。ついで、三重大（39）、名古屋工業大（9）、筑波大（1）、千葉大（3）、信州大（5）、静岡大（12）、岐阜大（2）、金沢大（3）となっています。主要な公立大学合格校では、三重県立看護大（3）、名古屋市立大（6）、愛知県立大（5）となっています。学部別の特徴では工学部系統の合格者比率が42%（昨年41%）を占めており、例年のことながら本校の大きな特徴となっています。また今年も昨年同様文系希望者が多く、合格者比率も文

学14.3%（昨年13%）と高くなっています。本校では、国立大学では工学部が多く開講されていること、同系統はもちろん文系系統においても国立大が私立大よりも教育、就職環境に優れるため、多くの生徒が全国的な視野を持って国立大の受験校選択をおこなっています。

地元三重大への本校の志願者は例年同様今年も多く、センター試験後の出願指導と後期まで粘り強く受験した結果、現役合格39名という過去10年間で最も多い合格者を出すことができました。難関大では大学全体に人気のあった名古屋大に昨年同様5名が合格し、北海道大2名、大阪大2名の合格者を出すことができました。

愛知県立看護大と統合し学部改編のあった愛知県立大では志願者が増加しましたが、本校の合格者は例年並みの5名を出すことができ、さらに富山大、金沢大、福井大、鳥取大、高知大、会津大、滋賀県立大などの地域の大学では、センターリサーチ後に志願状況が大きく変わる大学・学部も見られました。十分な2次対策を行い、後期まで受験しに行くことで合格を得られた生徒が目立った入試でした。1年次からの担任との面談を中心としたきめ細かい指導の積み重ねと、センター試験後の1月後半から2月、3月の対策の成果が表れたと考えられます。

私立4年制大学の延べ受験者数は1398名、重複を除く受験者数は278名でした。平均併願数は5.03（昨年5.27）になります。受験者動向における第一の特徴は、一般入試前期日程の受験者数（延べ598人）が昨年（延べ797人）より大きく減少し、過去5年でも最も少ない数となっていることです。次にセンター利用前期では受験者数（延べ597人）と昨年（延べ549人）より増加し、合格率も57.5%と昨年（51.0%）から上昇し、過去5年間で最高の数字となっています。

学部別の合格状況は、工学系が33.4%と群を抜いて多く国立大と同じ傾向です。ついで、文学系（16.7%）となっており、経済・商学系は8.9%と昨年（12.8%）から大きく減少しています。また国立大では教育学部の合格者が13.6%であったのに対し、私立大では6.6%とほぼ半減している状況がみられます。工学系が多いのは理系選択生徒が多いことによるものを中心とします。今年の工学部系の受験者動向の特徴は、愛知工業大での

受験者の大幅な増加がみられる一方で、南山大、中京大で受験者の大幅な減少がみられたことでした。

私立4大の受験については、当然受験者の学力層の志望者動向をそのまま反映するものですが、しかし、各模試における志望者動向の緻密な分析、受験選択科目決定の善し悪しとセンター利用方式を中心とした入試方式選択、早期からの徹底した過去問対策の三つを真剣におこない、最後まで粘り強く受験する姿勢が重要になってきます。センター利用方式を上手に活用するためにも、センター試験を目標とした受験計画を立てること、さらに3月の最終の入試まであきらめずにチャレンジすることが、希望大学への合格に結びついてきます。

地域の期待を担う進学校として今後も一層の飛躍を目指して進路指導を行っております。先輩諸氏のご協力とご鞭撻をお願い致します。

（進路指導部 崎山 精二）



完成した50周年記念モニュメント
（制作：長谷川克義氏 27期生）

2009年入試 大学合格者数（浪人含む）

大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格		
北見工業	3	島根	1	北九州市立	1	東京理科	3	大同	1	びわこ成蹊スポーツ	1	天理	3
北海道	2	山口	1	福岡県立	1	日本	4	中京	49	京都医療科学	1	岡山理科	3
秋田	1	香川	1	長崎県立	1	文化女子	1	中京女子	1	大谷	2	環太平洋	2
茨城	1	高知	2	公立大学計	38	法政	1	中部	26	京都産業	8	広島国際	1
筑波	1	佐賀	1	東北福祉	1	明治	6	豊田工業	1	京都女子	2	日本赤十字広島看護	1
千葉	3	国立大学計	115	文教	1	立教	3	名古屋音楽	1	京都造形芸術	3	徳島文理	1
東京海洋	1	公立はこだて未来	1	千葉商科	1	早稲田	4	名古屋外国語	15	京都光華女子	1	私立大学計	690
新潟	1	秋田県立	2	千葉科学	1	神奈川	4	名古屋学院	1	同志社	13	岐阜市立女子短大	1
富山	2	会津	2	青山学院	1	関東学院	1	名古屋経済	1	同志社女子	2	三重短大	7
金沢	3	高崎経済	2	北里	2	相模女子	1	名古屋芸術	2	京都ノートルダム女子	1	創価女子短大	1
福井	4	横浜市立	2	慶應義塾	1	金沢工業	1	名古屋商科	1	立命館	32	名古屋女子短大	4
山梨	2	富山県立	1	国土館	4	岐阜聖徳学園	2	名古屋女子	16	龍谷	6	名古屋柳城短大	1
信州	5	福井県立	1	駒澤	2	岐阜医療科学	3	藤田保健衛生	12	大阪芸術	1	神戸女子短大	1
静岡	12	都留文科	1	成城	1	聖隷クリストファー	1	南山	48	大阪工業	4	短大計	15
愛知教育	2	静岡県立	1	実践女子	1	静岡文化芸術	1	日本福祉	4	大阪体育	2	名古屋美容専門学校	1
名古屋	5	愛知県立	5	芝浦工業	2	名古屋学芸	8	名城	93	関西	21	旭理容美容専門学校	1
名古屋工業	9	名古屋市立	6	上智	1	愛知	12	東海学園	2	関西外国語	1	名古屋ビューティースクール	1
岐阜	2	三重県立看護	3	中央	3	愛知学院	13	桜花学園	1	近畿	13	中日美容専門学校	1
三重	42	滋賀県立	3	帝京	6	愛知医科	2	名古屋文理	2	梅花女子	1	名古屋モード学園	1
大阪	2	京都府立	1	東海	6	愛知工業	45	皇学館	16	関西学院	6	エクラ美容専門学校	1
大阪教育	1	大阪市立	1	東京家政	1	愛知淑徳	24	鈴鹿医療科学	22	甲南	2	エムティエ美容専門学校	1
奈良女子	1	尾道	1	東京電機	1	金城学院	28	四日市	1	神戸学院	2	専門学校計	7
鳥取	4	下関市立	2	東京農業	1	檀山女学園	26	四日市看護医療	6	武庫川女子	1		

同窓会名簿を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありません。ご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

先生お元気ですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

アンケート項目

- ①南高を転退職されてから何年になりましたか。
- ②現在のお勤め先(お仕事)と併せて近況をお聞かせください。
- ③趣味あるいは余暇の活用などの様子をお聞かせください。
- ④南高時代の最も印象に残っていることはどんなことですか。
- ⑤南高及び南高生、同窓生にご助言、メッセージをお願いします。

勝 徹 先生

①南高には93年から03年まで10年間お世話になりました。転勤してから7年になります。

②四日市工業を経て、現在は鈴鹿市の神戸高校に勤務しています。進学実績で南高校に追いつけ、追い越せと毎日忙しい日々を送っていますが、相変わらずバスケット中心の生活をしています。今年度の県総体ではベスト8まで駒をすすめることができました。

③部活の関係で、余暇は殆どありませんが、南高校に勤務していたころ覚えたゴルフを平子先生を筆頭に、川北、北原、杉山哲夫各先生方と楽しませていただいております。

④やはり部活動が一番印象に残っています。あと1勝でベスト4に届くのに、チームを勝利に導けず、部員たちに悔しい思いをさせたことが今でも心残りです。様々な敗戦から自分も多くのことを学び、現在に至るのですが、南高校の素晴らしい選手達に自分も育

てもらったと感謝しています。現在、卒業生が続々と三重県の教員になり、バスケットの指導者となってくれているのが本当にうれしい限りです。また、6年間生徒指導部に籍をおき、3年間は部長を勤めました。その最後の年に制服の改定を決定し、次年度に新しい制服を決定する委員会に参加しました。自分は新しい制服を着た生徒を見る前に転勤してしまつたのですが、「南高の制服がいい」という声が他校の高校生から聞こえると、思わず心の中でウレシイ気分になっています。



てもらつたと感謝しています。現在、卒業生が続々と三重県の教員になり、バスケットの指導者となってくれているのが本当にうれしい限りです。また、6年間生徒指導部に籍をおき、3年間は部長を勤めました。その最後の年に制服の改定を決定し、次年度に新しい制服を決定する委員会に参加しました。自分は新しい制服を着た生徒を見る前に転勤してしまつたのですが、「南高の制服がいい」という声

⑤南高校での10年間は、群の解体、数理コースの創設、新体育館の建設、45分7限授業の開始、そして前記の新制服への改定と現在の「南高」の礎になるような時期を過ごしたのですが、いつの時期も「南高生」は勉強に追われながらも、元気で、どこかいたずらっぽく、自分の内に秘めた何かを「表現」できる「ステージ」を持つていました。それは部活動や課外、補習、日常のさりげない言動であつたり、体育祭の応援や文化祭の幕間であつたりしました。そういった気質は現在の南高生にも脈々と受け継がれていると聞きます。そういった様々な「ステージ」が南高には用意されているはずですから、在校生の皆さんは、自分が「表現」できる「ステージ」を見つけ出すことが有意義な高校生活を送ることに繋がって行くのではないのでしょうか。私も南高のOBとして、一人の卒業生の親として今後の南高を見守っていきたいと思います。

第33回 全国高等学校総合文化祭

第33回全国高等学校総合文化祭がいよいよ7月29日から始まります。生徒実行委員会を中心としたPR活動もラストスパートの時期を迎えています。

6月25日に行った知事表敬訪問では、生徒実行委員の5名が三重大会に向けた熱い思いを語り、大会の成功を約束しました。また、7月10日に行われた第91回三重大会開会式におけるPRでは、高校球児とともに今夏の健闘を誓い、生徒実行委員会委員長の本校3年生の江藤美佳さんが、始球式もさせていただきました。本人はとても緊張していましたが、野球部のマネージャーに教わつたという本格的な投球フォーム(?)に、スタンドからどよめきが起こっていました。



本校生徒江藤美佳さんによる始球式

教職員移動

平成20年度末(敬称略)

【退職】

国語 太田仁 (梅花女子大学)
体育 伊藤典明

【転出先】

教頭 結城義一 (四日市教頭)
社会 松井秀行 (石薬師高校)
社会 五島治明 (四日市西高校)
社会 宮崎泰人 (県教委)
数学 福森賢一 (四日市西高校)
数学 津田裕司 (桑名高校)
美術 橋本一哉 (県教委)
情報 田辺照祥 (亀山高校)
司書 鈴木陽子 (福生高校)

【転入】

教頭 山添欣一 (いなべ総合)
国語 石田実貴 (新採用)
国語 望木智代 (新採用)
社会 稲垣良二 (四日市西)
数学 服部逸子 (上野商業)
数学 北村亜衣 (新採用)

【前任校】

教頭 山添欣一 (いなべ総合)
国語 石田実貴 (新採用)
国語 望木智代 (新採用)
社会 稲垣良二 (四日市西)
数学 服部逸子 (上野商業)
数学 北村亜衣 (新採用)

同窓会役員

会長	粕谷邦男	(2期)	校長
副会長	田中 正	(2期)	事務次長
	山路 熟	(14期)	教諭
	鈴木正司	(17期)	〃
書記	大日方敏之	(15期)	〃
	水谷正美	(23期)	〃
会計	小柳秀樹	(20期)	〃
	石原正敏	(29期)	〃
【学校側】			
顧問	中川安久		〃
会計	中川栄子		〃
理事	村野玉紀		〃
	稲垣良二		〃
	浦田 治		〃
	川井田真澄		〃
	城 利英		〃
	中川 綾		〃

連絡先
〒510-8562 四日市市日永宇岡山4917
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
TEL. 059-345-3177・3178
FAX. 059-345-9549
http://www.4nan.jp/dousou/ E-mail ds@4nan.jp

平成21年度 総会及び懇親会

開催日時：平成21年8月8日(土)
午後2時より理事会
午後3時より総会

開催場所：四日市都ホテル

会計報告など総会(30分程度)、立食パーティー形式の懇親会を予定しております。